

第3回備後経済研究会

日時：2017年10月13日（金）18：30～20：30

場所：福山大学宮地会館（JR福山駅北口徒歩1分）

報告：石原 俊彦 教授

（関西学院大学大学院経営戦略研究科ビジネススクール）

内容：地方自治体の行財政改革と地方創生

概要：地域経済において地方自治体が果たすべき役割は非常に大

きと考えられています。昨今では、少子高齢化への対応、
インフラ資産やハコモノの老朽化、上下水道の経営改革を
はじめとして、多くの行政課題を自治体は解決してゆかね
ばなりません。自治体にはまた、地方創生を実現して、地

域を活力ある社会として持続・発展することが求められています。現在多くの自治体では官官連携や官民連携の手法を通じて、こうした課題に果敢に取り組んでいます。研究会では、地方自治体が直面する行財政改革の課題を整理し、その解決を円滑に進めている先進事例を概観しながら、地域経済にとって特に重要な地方創生の諸問題を解決していくための方向性を確認します。もとより地方創生は行政のみで実現できるものではなく、民間企業やNPO等の活動にも、大きな期待が寄せられています。自治体がそうした民間部門とどう連携していくか。この問題について、みんなで考えてゆきたいと思います。



略歴：

1989年 関西学院大学大学院商学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学

1995年 第24回日本公認会計士協会学術賞受賞

2000年 関西学院大学産業研究所教授 博士（商学）の学位を授与される

2005年 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授（現在に至る）

2013年 国際公会計学会（J C I G A R）会長 一般社団法人 英国勅許公共財務会計協会日本支部代表理事（現在に至る）

2015年 英国勅許公共財務会計協会本部理事（現在に至る）

業績：

総務省地方行財政検討会議構成員、内閣府第30次地方制度調査会委員

北九州市公の施設に係る受益と負担のあり方検討懇話会座長、京都府参与 他

最近の単書・編著・監修書・監訳書：

『大学経営国際化の基礎』（関西大学出版会、2017年）

『自治大病院経営の基礎』（関西大学出版会、2016年）

『地方公共サービスのイノベーションとガバナンス』（関西学院大学出版会、2013年）他